

**新ブランド、家の中でも外でも使える家電・雑貨の「SOTOMO」第1弾
太陽光で発電・充電・給電を可能にした扇風機、ソーラーパワーファン「APF-560」を新発売**

デザイン家電・雑貨メーカーの株式会社アピックスインターナショナル（本社：大阪府大阪市、代表取締役社長：木地好美、以下アピックス）は、新ブランド「SOTOMO」よりソーラーパワーファン（APF-560）を2022年5月21日より発売いたします。



図1 屋外使用イメージ

<家の中でも外でも使えるがコンセプトの「SOTOMO」>



図2 ブランドロゴ

何もかも不自由なくモノやサービスが満ち足りている豊かな暮らしを追い続ける一方で、時に過剰で浪費的なサイクルに疑問を抱くこともあります。

その中で、もっとシンプルに、もっとエシカルな暮らしには最適なカタチがあるのではないか？という思いから

モノの垣根を超えるモノ＝MPP（※Multi Purpose Product）を目指す、次世代型プロダクトブランドを立ち上げました。

それが、SOTOMOです。

まずは、家で使う事が当たり前であった「家電」を、今までに培った技術を生かし「家でも外でも使える」プロダクトとして提案していきます。

<ソーラーパワーファンの特徴>

「SOTOMO」ブランド第一弾になるソーラーパワーファン（APF-560）は、今までは電気を消費するだけであった扇風機に、ソーラーパネルを設置し、自ら発電して運転することを可能にした製品です。ソーラーで発電した電気は、内蔵するバッテリーに充電されるので、電源がない場所や、停電時でも運転することができ、さらに充電した電気は外部 USB 機器に給電することもできます。



図3 利用シーン（左：ソーラーパネル面、右：USB 給電）

本体はハンドル付きの折り畳み可能なボックスファンタイプにすることで、サイズもコンパクトで軽量。何時でも何処でも持ち運びたくなる、アイテムに仕上げました。

折り畳み可能なので、収納時も場所を取らずクローゼットの隙間などに簡単に収納することができます。



図4 持ち運びと収納イメージ（左：持ち運び、右：収納）

<開発背景>

ソーラーパワーファンは、2019年千葉県での台風（令和元年房総半島台風）による被害を見聞きする中で、夏場の都市災害では電力の寸断が命に関わることを感じたのが開発の始まりでした。

災害復旧が早いと言われる電力ですが、あらゆるものが電化され9月でも40℃を越す事がある近年の日本では、1日でも送電が止まるとさまざまな不便や、命に関わる危機に直面することになります。

そのような危機を緩和できるアイテムが作れないか考える中で、空調を自家発電化することにより、情報機器の電力確保と涼を取る事ができると考えました。

そして行き着いたのが、日本人に馴染みがあり、誰でも何処でも使える太陽光を利用して発電する扇風機でした。

道のりは遠いかもかもしれませんが、この製品が日常・レジャーで常用されつつ、災害に備える文化が生まれる事、そういった災害で少しでも助かる命が増えることを期待しています。

<ソーラーパワーファン概要>

- 品名：ソーラーパワーファン
 - 品番：APF-560
 - 本体サイズ：(約) 幅 270×奥行 95×高さ 315mm
 - 本体質量：(約) 1.7kg
 - 消費電力：10W
 - バッテリー容量：10,000mAh
 - 電源(USB)ケーブル長さ：(約) 2.0m
 - 価格：オープン価格 (参考価格 ¥11,800-税込)
- 製品画像は弊社サイトからダウンロードできます
(ID/PW は広報担当までお問い合わせください)

<企業概要>

- 【社名】株式会社アピックスインターナショナル
- 【所在地】大阪府大阪市浪速区日本橋 4-7-7 5F
- 【代表者】代表取締役社長 木地好美
- 【設立年月日】昭和 54 年 4 月 5 日
- 【資本金】9,300 万円
- 【事業内容】電化製品・生活雑貨の製品企画・開発・販売
- 【従業員数】30 人
- 【ウェブサイト】<https://www.apix-intl.co.jp>

■ このプレスリリース・広報に関するお問い合わせ先

株式会社アピックスインターナショナル (東京オフィス)

●担当：佐藤 (さとう) ●TEL：03-5816-2270 ●E-mail：sato@apix-intl.co.jp